

# 菊竹清訓 Kiyonori Kikutake

# 山陰と建築 San'in and Architecture

菊竹清訓は、《島根県立美術館》(1998)の設計を手がけた戦後の日本を代表する建築家です。

自邸《スカイハウス》(1958)、《出雲大社庁の舎》(1963)といった作品や、建築運動「メタポリズム」などによって、国際的にも高い評価を受けています。

島根県では、知事も務めた第23代田部長右衛門との関係から、当館の前身である《島根県立博物館》(1958)をはじめ多くの建築を設計しました。

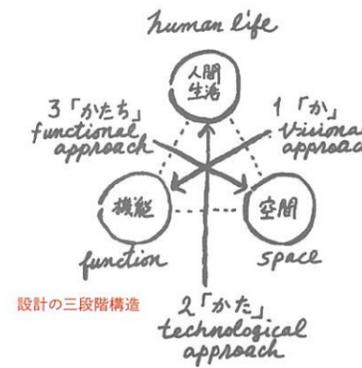
菊竹清訓の没後10年に開催される本展では、菊竹による山陰地方の建築に加え、代表的な作品や、生涯を通じて取り組んだ未来都市の構想を紹介し、菊竹建築の魅力を紹介します。

菊竹清訓 Kiyonori Kikutake (1928-2011)

福岡県久留米市に生まれる。1947年に早稲田大学理工学部建築学科に入学し、在学中に「広島平和記念カトリック聖堂建築競技設計」(1948)で3等に入選した。1950年早稲田大学を卒業。1953年、25歳で菊竹建築研究所を創立した。(1962年菊竹清訓建築設計事務所に改称)ブリヂストンタイヤの創業者・石橋正二郎からの依頼で《石橋文化センター》(1956)の設計のほかブリヂストン関係の建物を多く手がけた。1958年には自邸《スカイハウス》を発表し、日本の新しい住宅建築として、注目を集めた。1960年に川添登、黒川紀章らとともに「メタポリズム」を提唱し、「世界デザイン会議」に参加した。また「か・かた・かたち」の設計理論を展開したことも知られる。1964年には、《出雲大社庁の舎》(1963)の設計によって、アメリカ建築家協会(AIA)汎太平洋賞、芸術選奨文部大臣賞、日本建築学会賞作品賞の各賞を受賞した。1969年、代表的な著書『代謝建築論』を刊行。日本万国博覧会の《エキスポタワー》(1970)、沖縄海洋博覧会の《アクアポリス》(1975)など数々の博覧会でも活躍し、《東京都江戸東京博物館》(1992)、《九州国立博物館》(2004)を手がけた。



スカイハウス/1958年/撮影:川澄明男



## スカイハウスと初期の作品

若くして自身の設計事務所を設立した菊竹清訓は、同郷のブリヂストンタイヤの創業者・石橋正二郎から、木造建築の改築の仕事を数多く依頼された。こうした仕事の「解体」「組み立て」の作業によって、菊竹は日本建築の「更新」という概念を見いだすことになる。

また正方形のワンルームを、4つのコンクリートの壁柱で持ち上げた

自邸《スカイハウス》を発表し、戦後のモダニズム建築の旗手として注目を集めた。

## 山陰の建築

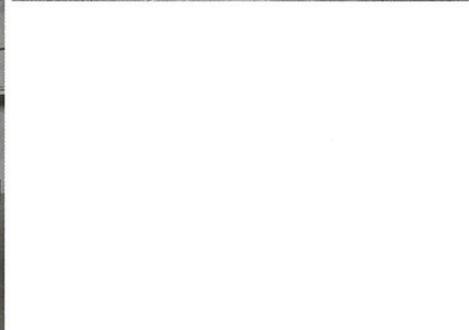
島根県松江市に博物館を建設する計画を進めていた第23代田部長右衛門は、久留米市の《石橋美術館》を視察し、博物館の設計を菊竹清訓に依頼することを決心する。1957年に島根に招かれた菊竹は、出雲大社に案内され、本殿の壮大な建築に強い印象を受けた。その後、知事となった田部長右衛門によって、菊竹は島根で多くの建築を設計している。本展では、松江市、出雲市、米子市・境港市、萩市で建設された菊竹による建築を紹介する。

## メタポリズムと未来都市の構想

建築評論家の川添登は、1960年に建築家の菊竹清訓、大高正人、黒川紀章、槇文彦、グラフィックデザイナーの栗津潔、インダストリアルデザイナーの榮久庵憲司を召集し、メタポリズム・グループを結成した。メタポリズム・グループは、この年、東京で開催された「世界デザイン会議」で、「メタポリズム」を提唱し、新しい都市と建築を提案したのだった。《塔状都市》、《海上都市》から始まる未来都市の構想は、菊竹が生涯を通じて取り組んだ仕事である。

## 方法と作品

菊竹清訓は、《出雲大社庁の舎》の設計を手がけた1960年頃から設計とは何かという問題に直面し、独自の的方法論を構築し始める。「か・かた・かたち」の三段階の設計理論を展開した菊竹は、自信を持って1963年の「国立京都国際会館設計競技」に臨んだ。菊竹の応募案は、実現されなかったが、この方法論によって、生涯、数多くの作品を生み出し、《東京都江戸東京博物館》(1992)や《九州国立博物館》(2004)といった大作も実現した。



- 1 菊竹清訓/2010年頃/撮影:石黒唯嗣
  - 2 東光園/1964年/撮影:村井修
  - 3 島根県立図書館/1968年/撮影:平山忠治
  - 4 出雲大社庁の舎/1963年/撮影:二川幸夫
  - 5 島根県立博物館/1958年/撮影:多比良敏雄
  - 6 アクアポリス/1975年/画像:沖縄国際海洋博覧会協会
  - 7 東京都江戸東京博物館/1993年/撮影:新建築社写真部
  - 8 都城市民会館 模型/1968年/情報建築蔵  
撮影:川澄明男
  - 9 島根県立美術館/1998年
- 表紙上 東光園/1964年/撮影:新建築社写真部  
表紙下 島根県立美術館/1998年  
島根県立図書館 スケッチ/1968年